

12月29日(日)「第26回ヤングチャンピオンシップ」(BG2)の結果 ～十勝産駒のスーパーシン号が後続馬を寄せ付けない強い走りで重賞初制覇～

ばんえい十勝で2024年12月29日(日)に行われた「第26回ヤングチャンピオンシップ」(2歳産駒特別選抜別定・BG2)は、十勝産駒特別1着馬のスーパーシン号が強い走りを見せ嬉しい重賞初制覇となりました。

11月から12月にかけて行われた「2歳産駒特別」の上位2頭に出走権が与えられる本レース。その特徴的な出走条件から『ばんえい甲子園』の愛称で呼ばれています。

馬場水分1.1%、ばんえい重量570kg～610kgで行われた本レース。スタートからスーパーシン号がレースを引っ張るも、道中はアバシリタカラコマ号、アグリホープ号、キョウエイエース号らが先頭を入れ替わりながらほぼ横並びで進みます。

第二障害を先に仕掛けて抜けたスーパーシン号に続き、ウンカイダイヤモンド号、キョウエイエース号が追いかけてきます。各馬若駒らしいスピードある走りを見せますが、先頭のスーパーシン号が後続馬を突き放してゴール。接戦で敗れ2着となった重賞「ナナカマド賞」の結果を巻き返し、雪辱を果たしました。

2着以降はゴール手前までもつれ込み、粘り強く歩き切ったウンカイダイヤモンド号が2着、アバシリタカラコマ号が3着に入りました。

スーパーシン号を管理する長部幸光調教師は「ヤングチャンピオンシップ」を初制覇、騎乗した藤野俊一騎手は2021年にヤマカツエース号で制した以来4度目の勝利となりました。

記

<スーパーシン号のプロフィール> ※2024年12月29日現在

生年月日・毛色：2022年2月25日(牡2歳・栗毛)

血統：父 スギノハリアー 母 ショウウン (母父) トウリュウ

生産者：西村 正順氏

馬主：江岸 利信氏

厩舎：長部 幸光厩舎

通算成績：10戦7勝(うち重賞1勝)



【長部幸光調教師のコメント】

「ナナカマド賞」の時は2着だったので、勝つことができとても嬉しいです。十勝産駒特別後、1開催休んで万全を期しての出走でした。休んでいる間も練習を頑張ってくれたので自信はありましたが、休み明けで少し不安もありました。もちろん狙っていましたがゴールに入るまで何が起こるかはわからないので、1着になって本当に嬉しかったです。

馬体が他の馬より大きい分、1歩リードしているとは思いますが、気性が良い馬ですのでこれからも大切に育てていきます。

【藤野俊一騎手コメント】

前回の重賞「ナナカマド賞」では最後に止まってしまう悔しい思いをしました。それからの重賞は全て勝つつもりで調整し挑んできました。馬に負担がかからぬ



よう休みを取りながらのローテーションを組み今日まで来ています。自分が担当して調教をつけています。エサの食べ方もよく、運動での反応をみても体調は良いと思っていました。今日はレベルの違うレースを見せることができました。2歳路線はこの後「翔雲賞」「イレネー記念」の2タイトルあります。ここでも格の違いを見せられるような勝ち方で狙っていきます。

以 上

<報道関係者 各位>

ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、ぜひ取材についてご検討の程よろしくお願い申し上げます。ご不明な点がございましたら以下までご連絡ください。

ばんえい十勝 広報担当 藤田・中村・高尾

[電話] 帯広競馬場 0155-34-0825(代)

※火・水曜除く9:30~18:15 準ナイター開催日(土・日・月) 12:00~20:00

[ばんえい十勝公式ホームページ] <https://www.banei-keiba.or.jp/>